

I 第52週の発生動向 (2013/12/23~2013/12/29)

1. インフルエンザについては、患者報告数が前週の50人から66人に増加し、迅速診断キットによる型別はA型31人、B型32人でした。(詳細については、**V県内インフルエンザ情報**をご覧ください)
2. 水痘については、八戸保健所管内に新たに**注意報**が発令され、東地方+青森市管内では第51週から**注意報**が継続しています。上十三保健所管内の注意報は解除されました。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の253人から267人に増加しています。

II 第52週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	12	0.9	6	0.4	39	2.8	1	0.1	8	0.9			66	1.0	16			12	1.0
(74) RSウイルス感染症	10	1.3	17	1.9	10	1.1	3	0.6	5	0.8	2	0.5	47	1.2	-2			10	1.3
(75) 咽頭結膜熱	30	3.8	2	0.2	1	0.1			1	0.2			34	0.8	7			30	3.8
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.3	9	1.0	15	1.7	3	0.6	13	2.2	5	1.3	47	1.2	-11			2	0.3
(77) 感染性胃腸炎	58	7.3	34	3.8	32	3.6	18	3.6	69	11.5	56	14.0	267	6.5	14			58	7.3
(78) 水痘	37	4.6	16	1.8	41	4.6	1	0.2	17	2.8	3	0.8	115	2.8	-28			37	4.6
(79) 手足口病									1	0.2			1	0.0	0				
(80) 伝染性紅斑	6	0.8	1	0.1					1	0.2			8	0.2	4			6	0.8
(81) 突発性発しん			5	0.6	1	0.1			9	1.5	2	0.5	17	0.4	-4				
(82) 百日咳															-1				
(83) ヘルパンギーナ	2	0.3									2	0.5	4	0.1	4			2	0.3
(84) 流行性耳下腺炎			1	0.1	1	0.1					4	1.0	6	0.2	-4				
眼科 (86) 急性出血性結膜炎					1	0.5							1	0.1	1				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			3	1.5	1	1.0					5	0.5	-3			1	0.5
(92) クラミジア肺炎															0				
基幹 (93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎											5	5.0	5	0.8	-3				
(96) 無菌性髄膜炎															0				
(101) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0				

は警報 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患):青森市2人、弘前2人、八戸1人、五所川原1人、上十三1人、東地方1人
 (2013年計:307人)

IV 病原体検出情報

検出情報は、ありませんでした。

感染症の窓

水痘 (五類定点把握疾患)

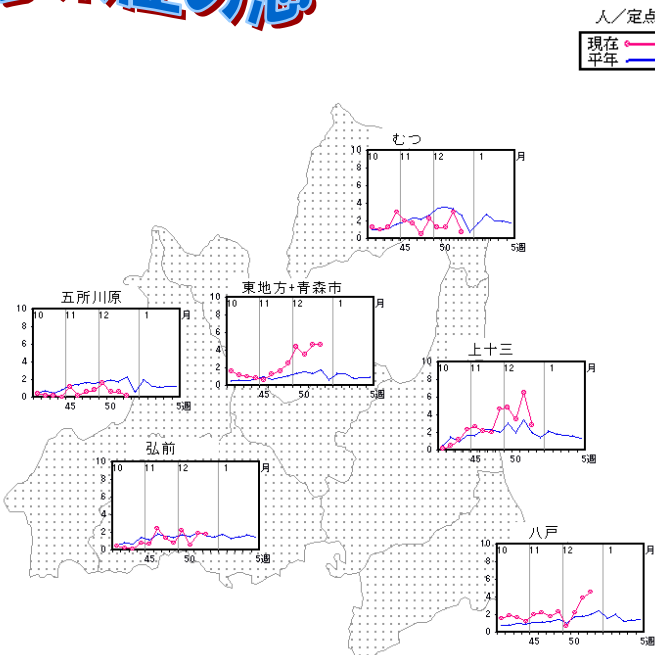


図 県内の保健所管内別発生状況

全国の水痘患者報告数は、第46週以降増加が続いています。県内でも同時期から増加傾向を示し、注意報が発令されている地域もあり、今後の動向に注意が必要です(図)。

水痘の病原体は水痘・帯状疱疹ウイルスで、感染力は極めて強く、感染経路は飛沫感染、接触感染です。小児期、特に5歳以下に好発し、主症状は、発疹、倦怠感、発熱です。発疹は全身性で、紅斑、丘疹を経て水疱となり、かさぶた化し、急性期には各段階の発疹が混在するのが特徴です。通常は予後良好ですが、細菌の二次感染、髄膜炎、肺炎等の合併症を起こす場合もあり、成人が発症すると重症となる場合が多くなります。

治癒後も、ウイルスは終生知覚神経節に潜伏感染し、免疫抑制状態、高齢化に伴い、再活性化して帯状疱疹を発症する可能性があります。

予防方法は、任意のワクチン接種です。(参考: IDWR「注目すべき感染症」)

V 県内インフルエンザ情報

第52週の患者報告数は、66人で、迅速診断キットによる型別はA型31人、B型32人、不明3人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	49	50	51	52
保健所名				
東地方				
弘前	1	1	2	6
八戸	2	1	19	39
五所川原				1
上十三	1		7	8
むつ			1	
青森市		12	21	12
合計	4	14	50	66

A型 (迅速診断キットによる型別です)

週	49	50	51	52
保健所名				
東地方				
弘前	1	1		3
八戸			9	15
五所川原				1
上十三			6	2
むつ			1	
青森市		12	20	10
合計	1	13	36	31

B型 (迅速診断キットによる型別です)

週	49	50	51	52
保健所名				
東地方				
弘前			2	3
八戸	2	1	8	23
五所川原				
上十三	1		1	6
むつ				
青森市			1	
合計	3	1	12	32

年齢区分別

週	49	50	51	52
～5ヶ月				
～11ヶ月			1	
1歳			3	1
2歳			4	1
3歳		1	4	
4歳		2	5	3
5歳		6	6	6
6歳		1	3	4
7歳			1	3
8歳			2	2
9歳		1	2	7
10～14歳			6	20
15～19歳	3	1	1	1
20～29歳	1		3	4
30～39歳			3	5
40～49歳			4	6
50～59歳		2	1	1
60～69歳			1	1
70～79歳				1
80歳以上				

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第37週～第52週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
37	H25.9.9 ~ H25.9.15	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 アメーバ赤痢1人	腸管出血性大腸菌感染症3人			腸管出血性大腸菌感染症1人
38	H25.9.16 ~ H25.9.22		梅毒1人 侵袭性インフルエンザ菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症4人			腸管出血性大腸菌感染症1人
39	H25.9.23 ~ H25.9.29		腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人			
40	H25.9.30 ~ H25.10.6					腸管出血性大腸菌感染症1人	
41	H25.10.7 ~ H25.10.13			レジオネラ症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
42	H25.10.14 ~ H25.10.20					腸管出血性大腸菌感染症2人	
43	H25.10.21 ~ H25.10.27		つつが虫病1人				
44	H25.10.28 ~ H25.11.3		腸管出血性大腸菌感染症1人	梅毒1人			
45	H25.11.4 ~ H25.11.10					つつが虫病2人	
46	H25.11.11 ~ H25.11.17			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
47	H25.11.18 ~ H25.11.24		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
48	H25.11.25 ~ H25.12.1	つつが虫病1人	急性脳炎1人				
49	H25.12.2 ~ H25.12.8						
50	H25.12.9 ~ H25.12.15			アメーバ赤痢1人	レジオネラ症1人		
51	H25.12.16 ~ H25.12.22						
52	H25.12.23 ~ H25.12.29						

VII 結核(二類全数把握疾患)

2013年第45週～第52週

単位：人

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
45	H25.11.4 ~ H25.11.10				2		1
46	H25.11.11 ~ H25.11.17		1	6	2	1	
47	H25.11.18 ~ H25.11.24	1	1	1			1
48	H25.11.25 ~ H25.12.1	1	1	2		1	1
49	H25.12.2 ~ H25.12.8	2	2	2			1
50	H25.12.9 ~ H25.12.15		2	1			
51	H25.12.16 ~ H25.12.22	3	2	1			
52	H25.12.23 ~ H25.12.29	3	2	1	1	1	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2013年第1週～第50週累計)

分類	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキソコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクンギニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	マラリア
累積報告数	1	25418	4	140	3974	65	48	113	123	17	8	1	5	4	48	13	309	238	173	8	2	47
分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	髄膜炎菌性髄膜炎
累積報告数	19	4	1084	28	1001	276	344	19	201	195	1463	79	99	20	893	29	1171	123	52	14323	219	2

青森県

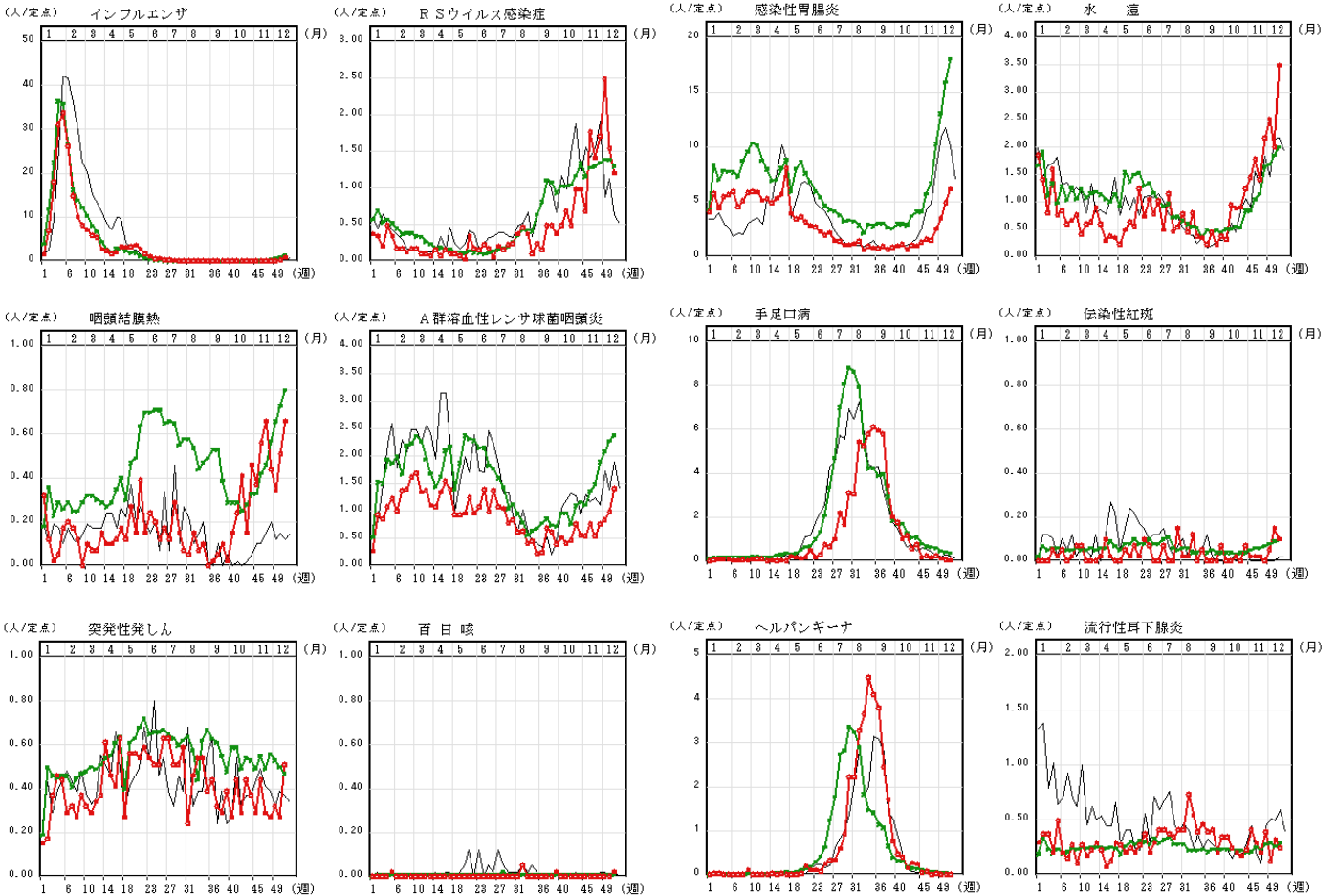
(2013年第1週～第52週)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん						
累積報告数	307	60	3	20	6	4	4	3	2	2	2	1	4	1	1	1						8

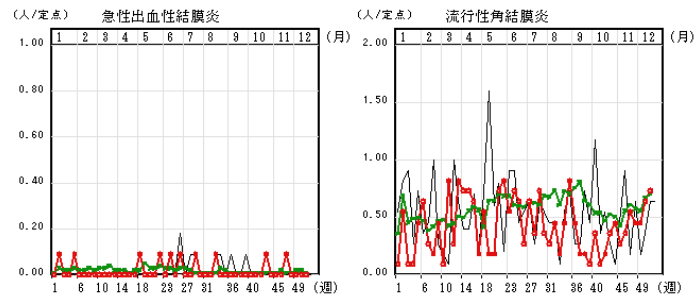
IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2013年第51週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 2013年第51週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2013年第51週

